

授業科目名	生 命 倫 理			担当教員	柳 井 圭 子	
開講年次	2年後期	セメスター	4	時間数(単位数)	15 (1)	
必修選択	必修	授業形態	演習	使用教室		
授業の目的	生死にまつわる医療・看護の問題の中でも、看護における倫理的問題を見極め、人間の尊厳と患者の権利の尊重を基盤とした判断能力を学ぶ。					
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 生命倫理誕生の背景および歴史的な発展過程を理解し、医療の場で生じている倫理的問題について考えることができる。</li> <li>2. 具体的な事例を適切に分析し、法や倫理規定に適用することができる。</li> <li>3. 倫理的に振る舞う（行動する）意味を理解し、看護職者として何が求められているかを考えることができる。</li> <li>4. 生命倫理の諸問題に対し、自身の倫理的価値判断を導き出すことができる。</li> <li>5. ニュース等報道に目を向け、生命倫理に関する問題に関心を持ち、考え・判断する習慣を身につけることができる。</li> </ol>					
授業計画						
回	授業内容	授業方法	学修課題 (予習・復習)	取組時間	担当者	
1	導入： 生命倫理学の誕生と背景・学問的位置づけ	講義	序章の要点整理（予習）/ 課題に取り組む（復習）	1時間	柳井	
2	生命倫理の問題状況と問題解決への取り組み	演習	第1・14章の要点整理（予習）/ 課題に取り組む（復習）	1時間	柳井	
3	生命の始期と生命倫理	演習	第2・3章の要点整理（予習）/ 課題に取り組む（復習）	1時間	柳井	
4	再生医療 エンハンスメント 脳神経倫理	演習	第4・12・13章の要点整理（予習）/ 課題に取り組む（復習）	1時間	柳井	
5	インフォームドコンセント 自己決定	演習	第5・7章の要点整理（予習）/ 課題に取り組む（復習）	1時間	柳井	
6	脳死・臓器移植 医療資源の配分	演習	第10・11章の要点整理（予習）/ 課題に取り組む（復習）	1時間	柳井	
7	生命の終期と生命倫理	演習	第8・9章の要点整理（予習）/ 課題に取り組む（復習）	1時間	柳井	
8	まとめ：フィードバック	演習	第6章の要点整理（予習）/ 課題に取り組む（復習）	1時間	柳井	

先行履修 科目					
テキスト	玉井真理子・大谷いづみ：はじめて出会う生命倫理. 有斐閣, 2011.				
参考文献	黒崎剛・野村俊明：生命倫理の教科書：何が問題なのか, ミネルヴァ書房, 2014. 小林亜津子：看護が直面する 11 のモラル・ジレンマ, ナカニシヤ出版, 2010. 他、適宜紹介する。				
科目の 位置づけ	この科目は〈リベラルアーツ・専門基礎科目〉であり、「人間」「環境」「健康」「国際」の 4 つの主要概念の「人間」に位置付けている。				
ディプロマポリシー との関連	人間の尊厳と権 利を擁護する力	自己教育力	チームで働く力	問題解決力	看護の専門性 を探究する力
	◎	○			
評価方法	授業への参加度・提出物（50%）、課題レポート（50%）を合計して算出する。				